

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)

【公開番号】特開 2005-303470 (P2005-303470A)
 【公開日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-042
 【出願番号】特願 2004-113565 (P2004-113565)
 【国際特許分類】

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 M 3/00 (2006.01)

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 1/00 K

H 0 4 M 1/00 S

H 0 4 M 3/00 B

H 0 4 M 11/00 3 0 2

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 4 月 4 日 (2007.4.4)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

I P 網を介して音声通話に必要な通信制御を行う I P 電話制御部と、前記 I P 電話制御部による通信制御中における新たな着信を検出する着信検出部と、前記新たな着信の検出に応じてその旨をオペレータに通知する着信通知部と、を具備することを特徴とする I P 電話装置。

【請求項 2】

前記着信検出部は、前記 I P 電話制御部による通信制御中における P S T N 網からの新たな着信を検出し、前記着信通知部は、この P S T N 網からの新たな着信に応じてその旨をオペレータに通知することを特徴とする請求項 1 記載の I P 電話装置。

【請求項 3】

前記着信検出部は、前記 I P 電話制御部による通信制御中における前記 I P 網からの新たな着信を検出し、前記着信通知部は、この I P 網からの新たな着信に応じてその旨をオペレータに通知することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 記載の I P 電話装置。

【請求項 4】

前記着信通知部は、音声通話中の音声に新たな着信があった旨を示す着信音を付加することでその旨をオペレータに通知することを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の I P 電話装置。

【請求項 5】

I P 電話装置としての機能を有しない電話装置に接続され当該電話装置を I P 電話装置として機能させる制御装置であって、前記電話装置からダイヤル発呼を受けると I P 網を介して音声通話に必要な通信制御を行う I P 電話制御部と、前記 I P 電話制御部による通信制御中における新たな着信を検出する着信検出部と、前記新たな着信の検出に応じてその旨をオペレータに通知する着信通知部と、を具備することを特徴とする制御装置。

【請求項 6】

前記着信検出部は、前記ＩＰ電話制御部による通信制御中におけるＰＳＴＮ網からの新たな着信を検出し、前記着信通知部は、このＰＳＴＮ網からの新たな着信に応じてその旨をオペレータに通知することを特徴とする請求項５記載の制御装置。

【請求項７】

前記着信検出部は、前記ＩＰ電話制御部による通信制御中における前記ＩＰ網からの新たな着信を検出し、前記着信通知部は、このＩＰ網からの新たな着信に応じてその旨をオペレータに通知することを特徴とする請求項５又は請求項６記載の制御装置。

【請求項８】

前記着信通知部は、音声通話中の音声に新たな着信があった旨を示す着信音を付加することでその旨をオペレータに通知することを特徴とする請求項５から請求項７のいずれかに記載の制御装置。

【請求項９】

ＩＰ網を介して音声通話に必要な通信制御を行う工程と、前記通信制御中における新たな着信を検出する工程と、前記新たな着信の検出に応じてその旨をオペレータに通知する工程と、を具備することを特徴とする着信通知方法。

【請求項１０】

ＩＰ網を介して音声通話に必要な通信制御を行うＩＰ電話制御部と、ＩＰ網と接続するＬＡＮインターフェース部と、ＰＳＴＮ網と接続するＰＳＴＮインターフェース部と、前記ＩＰ電話制御部による通信制御中に前記ＰＳＴＮインターフェース部を介してＰＳＴＮ網からの新たな着信を検出する着信検出部と、前記新たな着信の検出に応じてその旨をオペレータに通知する着信通知部と、オペレータが現在の通信を切断すると前記新たな着信との通信を開始する発着信制御部と、を具備することを特徴とする通信装置。

【請求項１１】

ＩＰ網を介して音声通話に必要な通信制御を行うＩＰ電話制御部と、ＩＰ網と接続するＬＡＮインターフェース部と、前記ＩＰ電話制御部による通信制御中に前記ＬＡＮインターフェース部を介してＩＰ網からの新たな着信を検出する着信検出部と、前記新たな着信の検出に応じてその旨をオペレータに通知する着信通知部とを具備し、前記ＩＰ電話制御部は、前記通知を受けたオペレータが現在の通信を切断すると前記新たな着信との通信を開始することを特徴とする通信装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００４０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００４０】

本発明の第１０の態様に係る通信装置は、ＩＰ網を介して音声通話に必要な通信制御を行うＩＰ電話制御部と、ＩＰ網と接続するＬＡＮインターフェース部と、ＰＳＴＮ網と接続するＰＳＴＮインターフェース部と、前記ＩＰ電話制御部による通信制御中に前記ＰＳＴＮインターフェース部を介してＰＳＴＮ網からの新たな着信を検出する着信検出部と、前記新たな着信の検出に応じてその旨をオペレータに通知する着信通知部と、オペレータが現在の通信を切断すると前記新たな着信との通信を開始する発着信制御部と、を具備する構成を採る。

この構成によれば、通話中にＰＳＴＮ網からの新たな着信が検出されると、このＰＳＴＮ網からの新たな着信の検出に応じてその旨がオペレータに通知され、オペレータが、必要に応じて現在の音声通話を切断すれば自動的に新たな着信に対応することができる。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００４１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 1 】

本発明の第 1 1 の態様に係る通信装置は、I P 網を介して音声通話に必要な通信制御を行う I P 電話制御部と、I P 網と接続する L A N インターフェース部と、前記 I P 電話制御部による通信制御中に前記 L A N インターフェース部を介して I P 網からの新たな着信を検出する着信検出部と、前記新たな着信の検出に応じてその旨をオペレータに通知する着信通知部とを具備し、前記 I P 電話制御部は、前記通知を受けたオペレータが現在の通信を切断すると前記新たな着信との通信を開始する構成を採る。

この構成によれば、通話中に I P 網からの新たな着信が検出されると、この I P 網からの新たな着信の検出に応じてその旨がオペレータに通知され、オペレータが、必要に応じて現在の音声通話を切断すれば自動的に新たな着信に対応することができる。